

三重県立熊野古道センターからのてがみ

"The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center"

2017.秋号

通号 No.44



日浦杉架線場跡

埋もれた車輪とレール

大杉谷森林軌道 高橋橋を渡る

尾鷲林業の発展を担った森林軌道と索道

大杉谷索道 (写真提供: 三重森林管理署)

9月2日から開催の熊野古道センター主催企画展「尾鷲林業物語～森林鉄道と索道の軌跡～」は、尾鷲林業の歴史とその発展の役割を担った運材方法として考案された「架空索道」および「森林鉄道」に焦点をあてた企画展である。

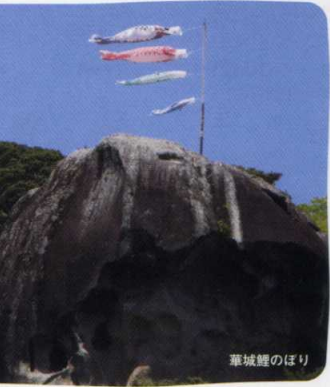
尾鷲市と紀北町、およびその背後に控える紀伊山地は、深く刻み込まれたV字谷の峻険な地形のため、伐木された材は軌道や索道など多様な方法が採用され山麓まで運材された。それらはトラック輸送に役割を渡す昭和40年代まで稼働した。やがて使命を終えた索道の原動機やワイヤーロープ、軌道のレールなどは解体撤収され、奥山の喧騒は止み、静寂の森に還った。

そんな賑わいをみせた奥山のひとつ大杉谷森林軌道跡を紹介したい。路線の走る大杉谷国有林はかつて「御杉山」とよばれ、神宮の式年遷宮造営にもなる材を供出していた山で、明治以降は皇室財産である「御料林」として管理され、昭和22年に林野庁国有林に編入された。この路線は大杉谷の枝谷である不動谷周辺で切り出された材を軌道、索道、イン

ライン、そして軌道と引き継ぎ、現在の船津駅あたりまで運材していたもので、全線で約27kmもある長大な路線である。特に上線と呼ばれた日浦杉架線場から不動谷にかけての路線は、登り勾配下り勾配がきつく、また切り立った地形のため平地がほとんどなく、丸太で組んだ栈橋の上にさらに栈橋を組み立てる「高橋橋」といわれた橋梁がいくつも存在していた。この山域で従事する人は、索道や軌道関係者をはじめ、伐木作業員など数十人から100人ほど居たとされる。

森林資源を求めて人をも寄せ付けぬ険しい山に分け入り、そして考案された運材方法は、先人たちの知恵の結晶ともいえるものである。今では、もの言わぬ制動機や錆びたレール、朽ちた枕木がその役割を終えひっそりと横たわっている。この山域ではいったいどれだけの物語が紡ぎ出されたのであろうか。軌道跡に立ち目を閉じればかつての賑わいが静かに、そして力強くよみがえってくる。

鯉のぼり



華城鯉のぼり



このイベント「泳げ！鯉のぼりくん」となるため、いつも断りばかり。以前は「いい年してこのぼりか」と笑われたものだが、近頃は「老骨にむち打つてもがんばれよ」と励まされるようになった。

「今年も来れんか毎年4月下旬になると、名古屋の友人から同窓会の誘いを受ける。しかし七里御浜海岸でのこのぼりイベント「泳げ！鯉のぼりくん」となるため、いつも断りばかり。以前は「いい年してこのぼりか」と笑われたものだが、近頃は「老骨にむち打つてもがんばれよ」と励まされるようになった。

このぼりの修繕は老人会、安全祈願は神社、泳げなくなったこのぼりはお寺で供養。住民総出で支えられてきたイベントでもある。

このぼりを揚げる支柱を建てるため、砂利に足を取られながら、「かけや（ハンマー）」で懸命に杭打ちをした。気付けば星月夜というところもあった。近くで見ていた漁師さんから「もう大概にせんと」と何度いわれたか。

今では熊野の初夏の風物詩として市民の間ではすっかり定着。県外からも多くの見物客が訪れる。スタッフ全員、確実に年を取ったが、熊野の明るい空の下に大群を泳がせようとする熱情はいささかも衰えない。皆さん、ええ年こいては言わないで応援よろしくです！

熊野古道からのてがみ

44 通目

花尻 薫からの季節のたより No.44

アサマリンドウは、三重県伊勢市の朝熊山で見られましたので、アサマリンドウ(朝熊竜胆)と名づけられました。漢字では竜胆と書きますが、リンドウの根には強烈な苦みがあり、まるで竜の肝のようだというわけで、この名がつけられたそうです。



アサマリンドウ

リンドウ科

リンドウは菊とともに秋を代表する素朴な花です。アサマリンドウは日本特産で、三重県・奈良県・和歌山県及び四国に分布しています。三重県では松阪市の櫛田川周辺より南に分布しています。生育している場所は民家に近い山から奥地の高い山ですので分布域は広いと言われています。

花は秋に咲き、茎の先端に青紫色の花を数個、上に向かって開きます。茎の高さは、約10～25cmくらいで、ややすす暗い林内に生えますが、まとまって生育することは少ないです。東紀州では熊野古道の脇道や矢の川峠へ向かう林道の道ばたに見られます。

三重県伊勢市の朝熊山で見られたアサマリンドウは、花が大きく、葉のふちが縮れています。リンドウ科の植物は、つぼみがねじれているのが特徴です。リンドウの仲間は移植しても栽培が難しく、長持ちしないので、出来るだけ自然のまま置くことが望ましいです。リンドウの仲間には、フデリンドウ・コケリンドウ・ハルリンドウなどが知られています。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 営業時間: 11:00～14:00
 料金: 中学生以上……1,200円
 小学生以上……700円
 4歳～小学生……300円
 4歳未満……無料
 60歳以上……1,000円
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00～21:00
 入浴料: 一般……600円
 65歳以上……500円
 4歳～小学生……300円
 4歳未満……無料

お風呂がりは、カフェでまったり♪
 営業時間: 9:00～17:00
 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご入浴できます。



●お車で越しの方は…
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は…
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス(尾鷲駅)バス停(徒歩1分)、または三重交通(尾鷲駅)バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター行」終点下車(約2時間)

熊野古道センターニュースレター 熊野古道センターからのてがみ

●2017年秋号●

- 発行日: 2017年9月10日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 藤本
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ

熊野古道伊勢路の以下の幹道が通行止めとなっております。
「横垣峠道」
 (南牟婁郡御浜町坂本地区～神本地区)
 ※平成29年9月10日現在

60000170910MF

その他
Guide&Tips

尾鷲の旬な

さかな
魚

～カマス～
(アカカマス)



カマス

サンマより早く秋の訪れを告げてくれる旬の魚。「秋カマスは嫁に食わずな」と言われるほど秋に脂が乗る白身の旨みのある味となる。肌は、長方形の「わらむしろ」を二つ折りして袋状にしたもの。共通点は口が大きいこと。カマスは、受け口で上層の小魚を狙い、鋭く尖った歯で食らいついて、丸ごと飲み込んでしまう。また、鱗は機織りで縦糸に横糸を通すときに使う舟形の道具で、カマスの体形に似ているから由来のようだ。江戸時代には、「梭子魚」と呼ぶ。スマートな体で、時速150kmにも達するスピードの持ち主。料理法は、塩焼き、薄造りの刺し身、フライ、干物などがおいしい。

第11回
**熊野古道
写真学校**
～あなたの秋をさがして～

日本を代表する風景写真家 竹内敏信氏を学校長に、東紀州地域各所で地域の人々とふれあいそして地域の魅力を体感し、写真の技術力向上を目指す写真学校です。
第11回目を迎える今年も、尾鷲市と紀北町を舞台に熊野古道伊勢路をはじめ、神社林や魚村山村風景など熊野の美しい風景や文化・風習などを写真に収めていただきます。

開催日: 11月3日(金・祝)～11月5日(日) 受付期間 ~10/15(日)まで
場 所: 尾鷲市、紀北町
定 員: 40名(要申込、先着順)
基礎・入門コース…20名
レベルアップコース…20名
講師: 基礎・入門コース 杉本 恭子氏 (公社)日本写真家協会会員、
キャンEOS学園講師
レベルアップコース 清水 重蔵氏 (公社)日本写真家協会会員
※詳細は熊野古道センターまでお問合せください。



参加料
Aプラン 28,000円 (2泊6食付)
Bプラン 12,000円 (宿泊無、昼2食付)

第11回
**熊野古道
フォト
コンテスト**
作品募集

●応募期間: 平成29年7月1日(土)～平成29年12月15日(金) 郵送の場合、当日消印有効。熊野古道センターへの持参の場合、17時まで
●応募テーマ: 熊野古道伊勢路“道”の魅力を伝える あなたが伝えたい“道”の素晴らしさ、未来へつなげる“道”の大切さを表現した写真作品。
●サイズ: モノクロ・カラー共、四切・四切ワイド・A4
●審査委員: 竹内 敏信氏 (公社)日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長
●賞: 最優秀賞 1点 賞金 5万円
優秀賞 2点 賞金 2万円
入 選 7点 記念品
●応募先・問合せ先: 三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL: 0597-25-2666 FAX: 0597-25-2667
HP: <http://www.kumanokodocenter.com>

応募方法、その他詳細は
三重県立熊野古道センターの
ホームページをご覧ください。



和歌山県
**世界遺産
センター**
からのお知らせ

真夏の厳しい日差しも和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。7月8日も熊野古道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。7月8日には下記のように多数の団体の皆様に道普請にご参加いただきました。世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通じて人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。7月1日開催の第2回世界遺産セミナーでは、「中近世に建立された田辺から本宮にかけての建造物」について、9月3日開催の第3回世界遺産セミナーでは「高野参詣道の歴史と魅力」について講演を行い、多数のご参加をいただきました。9月からは次世代育成事業として、本年度は和歌山県下から応募いただいた小中高24校を対象に世界遺産学習を実施します。

平成29年
第4回世界遺産セミナー (予定)
12/10(日) 14:00～16:00
内容: 世界遺産熊野地域の近代建築物 (新宮から田辺)
講師: 西山 修司氏 (元和歌山県教育委員会文化遺産課長)
場所: 串本文化センター (和歌山県東牟婁郡串本町2427)
参加費 無料

平成29年7月・8月の
道普請参加団体(敬称略)
NPO世界遺産の環境を守る会、
株式会社紀伊民報、日本電通株式会社、
熊野古道大辺路環境保全トッキング、
49-3即自有志
道普請前 道普請後
【道普請】とは 文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の安全活動(土入れ・雑草清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいております。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは 和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。
住所: 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX: 0735-42-1560 E-mail: e0624002@pref.wakayama.lg.jp
平成29年7月22日(土)～9月3日(日) 世界遺産熊野本宮館本棟企画コーナーにおいて「熊野古道大辺路～海と山が織りなす古の道～」の移動展示を開催しました。期間中はたくさんの方にご来場をいただき、ありがとうございました。

旬の企画展
Event Info.

企画展
**尾鷲林業物語
～森林鉄道と索道の軌跡～**

尾鷲林業の名を高めたヒノキ材を中心とした施業方法の歴史を紹介し、峻険な地形ゆえに考案された「架空索道」「インクライン」「森林軌道」といった運材方法の歴史について、産業遺産の展示や古写真を通して紹介します。

会 期: 平成29年9月2日(土)～11月19日(日) 場 所: 企画展示室
時 間: 午前9時～午後5時 ※会期中無休 共 催: 三重森林管理署
入場料: 無料
協 力: 片岡 督氏、曾野 和郎氏「三重県の森林鉄道～知られざる東紀州の鉄道網～」著者(共著)



付属事業
**講演会 銚子川流域
森林鉄道と索道を訪ねて**

大台林業森林鉄道および銚子川流域の二ノ俣森林鉄道・架空索道の踏査結果を、写真や資料を通してお話をさせていただきます。

日 時: 10月8日(日) 午後1時30分～午後3時 受付期間 9/8(日)～10/5(日)
入場料: 無料
定 員: 80人(要申込・先着順) 場 所: 映像ホール
講 師: 片岡 督氏、曾野 和郎氏
「三重県の森林鉄道～知られざる東紀州の鉄道網～」著者(共著)

特別展示室
企画展①
**清水 千佳子 ネイチャーアート展Ⅳ
～熊野の花とそとの仲間たち～& コラボコンサート**

会 期: 9月16日(土)～10月29日(日) ※会期中無休
時 間: 午前10時～午後5時
入場料: 無料
場 所: 特別展示室

三重県松阪市在住のイラストレーター、清水千佳子氏の作品展を開催します。キョウロウホトギス(紀伊上臈杜鵑)やイワタバコ(岩煙草)など、温暖多雨な気候である熊野には様々な植物が生息しています。そんな熊野の美しい自然を、絵を通して感じていただけます。会期中の様々なコラボイベントもお楽しみください。

付属イベント
デキシーランド・ジャズライブ 申込不要
日 時: 9月16日(土) 午後2時～4時
参加料: 無料
場 所: 交流棟大ホール
定 員: 200名
出 演: Tammy's Band ※定員を大幅に超えた場合、入場をお断りする場合がございます。

トロンボーンソロライブ 申込不要
日 時: 10月29日(日) 午後2時～4時
参加料: 無料
場 所: 特別展示室横水盤付近 (雨天の場合 特別展示室内)
出 演: 倉口 民央氏 (Tammy's Bandトロンボーン奏者)

ライブアート 申込不要
清水氏によるスケッチの実演をご覧ください。
日 時: 9月16日(土) 午前10時～12時
9月23日(土) 午前10時～12時、午後1時～3時
10月7日(土) 午前10時～12時、午後1時～3時
10月29日(日) 午前10時～12時
場 所: 特別展示室

特別展示室
企画展②
熊野の漁具

人々の知恵と工夫が詰まった漁具の展示を通して、古くから、良質な漁場として知られる熊野灘で行われてきた漁法などを紹介いたします。

会 期: 平成29年11月11日(土)～平成30年1月7日(日)
※12月31日(日)、1月1日(月)は休館
時 間: 午前10時～午後5時
入場料: 無料
場 所: 特別展示室

講座・講演

9/30(土)・10/7(土) 初心者向け山歩き講座 全2回

熊野古道歩きが安全快適におこなえるよう歩行の基礎的技術を学びます。伊勢路の各峠の登降や長距離の歩行に挑戦する意欲を養います。
時 間: 午前10時～午後3時
参加料: 200円(保険料含む)
定 員: 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対 象: 小学生以上、本格的な登山経験がない方、古道歩きをしてみたいが体力的に自身がない方
場 所: 展示棟映像ホール(机上講習)、熊野古道センター周辺、八鬼山七曲り付近まで
講 師: 熊野古道センター職員

10/22(日) 小津 安二郎 監督作品「晩春」上映会

父と娘の親子愛を中心とした人間模様を描いたホームドラマ『晩春』(昭和42年公開)をスクリーン上映します。上映後は、作品の魅力や、三重県に縁のある小津監督について語り合います。
時 間: 午後1時～3時30分(開演:午後0時30分)
参加料: 無料
定 員: 80名(要申込・先着順)
場 所: 映像ホール
解 説: 田中 忍氏(三重映画フェスティバル実行委員会会長)
※上映後の座談会は自由参加

新しい古道の歩き方

10/15(日) 碓の原風景を訪ねて・大谷峠越え

熊野市井戸町大馬神社から深沢峠を經由し、大谷峠(標高659m)を越えて、わずか2世帯が暮らす神川町碓集落を訪ねます。峠へと続く道には、石造物が点在し、かつて多くの人が行き交った生活古道の歴史を感じさせてくれます。
時 間: 午前9時～午後3時 雨天の場合は11/12(日)に延期
参加料: 500円(保険料・資料代含む)
定 員: 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場 所: 熊野市(井戸町大馬神社～大谷峠～神川町碓集落)
※集合場所: 熊野市文化交流センター駐車場
案内人: 中井 健一氏
共 催: 熊野市教育委員会

11/25(土) 尾鷲トレイル・矢ノ川安全索道跡～九木峠

尾鷲市を囲むようにぐるっと尾根伝いに歩く全長約37kmの道を「尾鷲トレイル」と呼びます。今回は、その一部を歩き、九木峠を目指します。途中、矢ノ川安全索道の駅舎跡を訪ねます。
時 間: 午前9時～午後3時(集合:午前7時30分)
参加料: 500円(保険料・資料代含む)
定 員: 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場 所: 尾鷲市(矢ノ川～九木峠)
※集合場所: 熊野古道センター駐車場
案内人: 福田 晃久氏(奥熊野体感ガイド)

体験教室
熊野古道自然学校

10/7(土) 銚子川マシダ植物の魅力再発見!

温暖多雨でその特有の地形から生物の多様性がみられる東紀州地域では、シダ植物の種類も豊富です。この自然学校では、銚子川流域を歩きながら、シダ植物の分類や生態について学びます。
時 間: 午前10時～正午 雨天の場合は10/8(日)に延期
参加料: 500円(保険料・資料代含む)
定 員: 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
場 所: 銚子川流域(紀北町尾ノ山木津) ※現地集合
講 師: 大洞 浩一氏(日本シダ学会員)

事前申込不要!
日曜ものづくり体験教室

東紀州で活躍中の職人や工芸家を講師に迎えて、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前予約不要で、小さいお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。
時 間: 午後1時～3時受付
参加料: 100円(※体験によって異なります)
場 所: 交流棟ロビー
講 師: 大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員
詳しくは熊野古道センターHPでご確認ください。